

# 芦屋市一般廃棄物処理基本計画概要(案)

# 芦屋市一般廃棄物処理基本計画概要

持続可能な循環型社会を目指すため5つの基本方針を策定し取り組みます。

＜芦屋市の将来像＞

人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市

「芦屋市ゼロカーボンシティ」表明

芦屋市第3次環境計画

SDGs

＜基本理念＞

わたしたち一人ひとりが主役となって、身近なごみを意識し、  
持続可能な循環型社会を目指します

基本方針2  
市民参画・協働  
の推進

基本方針3  
多様な主体  
との連携

基本方針1  
日常における  
環境意識の醸成

基本方針4  
排出事業者責任  
の徹底

基本方針5  
新施設の検討・構想

単なるごみ処理にとどまらない、持続可能な社会を目指した計画を策定します。

# 計画策定の背景① ～目指すべき芦屋市の姿～

住みやすく持続可能な芦屋市を目指します。

ごみは誰もが、どの世代も、どこの事業所も排出します。生活に大きく関わるごみ。地球環境や持続可能な街を守り続けるために、そのごみを減量し、資源を大切にする計画を策定します。ごみのことを自分ごとと捉え、市民、事業者、行政が協働で取り組み、住みやすく快適で持続可能な芦屋市を目指します。

どうして  
ごみ  
を減らし  
資源循環  
を目指す  
のか

環境負荷の大きい埋立(最終処分)量を最大限に削減

貴重な資源をいつまでも使えるように保全し将来に伝える

廃棄物に関して、温室効果ガスの実質排出量ゼロを目指す

ごみ処理のコストを軽減し、市民負担を減少

目標達成  
に向けた  
取り組み  
を通じて  
目指す  
将来像

生活の基盤である地球環境の維持

環境保全の取り組みが、同時に社会・経済の発展に繋がる好循環の構築

SDGs達成を通じて、誰一人取り残されない、誰もが輝く都市芦屋

地球環境や市民生活・社会経済活動を守ります

市民・事業者・行政の三者協働での取り組み

## 計画策定の背景② ～世の中を取り巻く環境の変化～

大きく変動した環境を取り巻く背景の変化に対応していく必要があります。

地球温暖化、海洋プラスチックごみ等、地球規模での環境問題が顕在化・深刻化

### <世界の動向>

国連において「持続可能な開発目標(SDGs)」採択(2015年)

### <国内の動向>

第4次循環型社会形成推進基本計画策定(平成30年(2018年))

食品ロスの削減の推進に関する法律施行(令和元年(2019年))

プラスチック資源循環法制定(令和3年(2021年))

カーボンニュートラル(令和32年(2050年))

### 世の中を取り巻く課題



### SDGs(持続可能な開発目標)



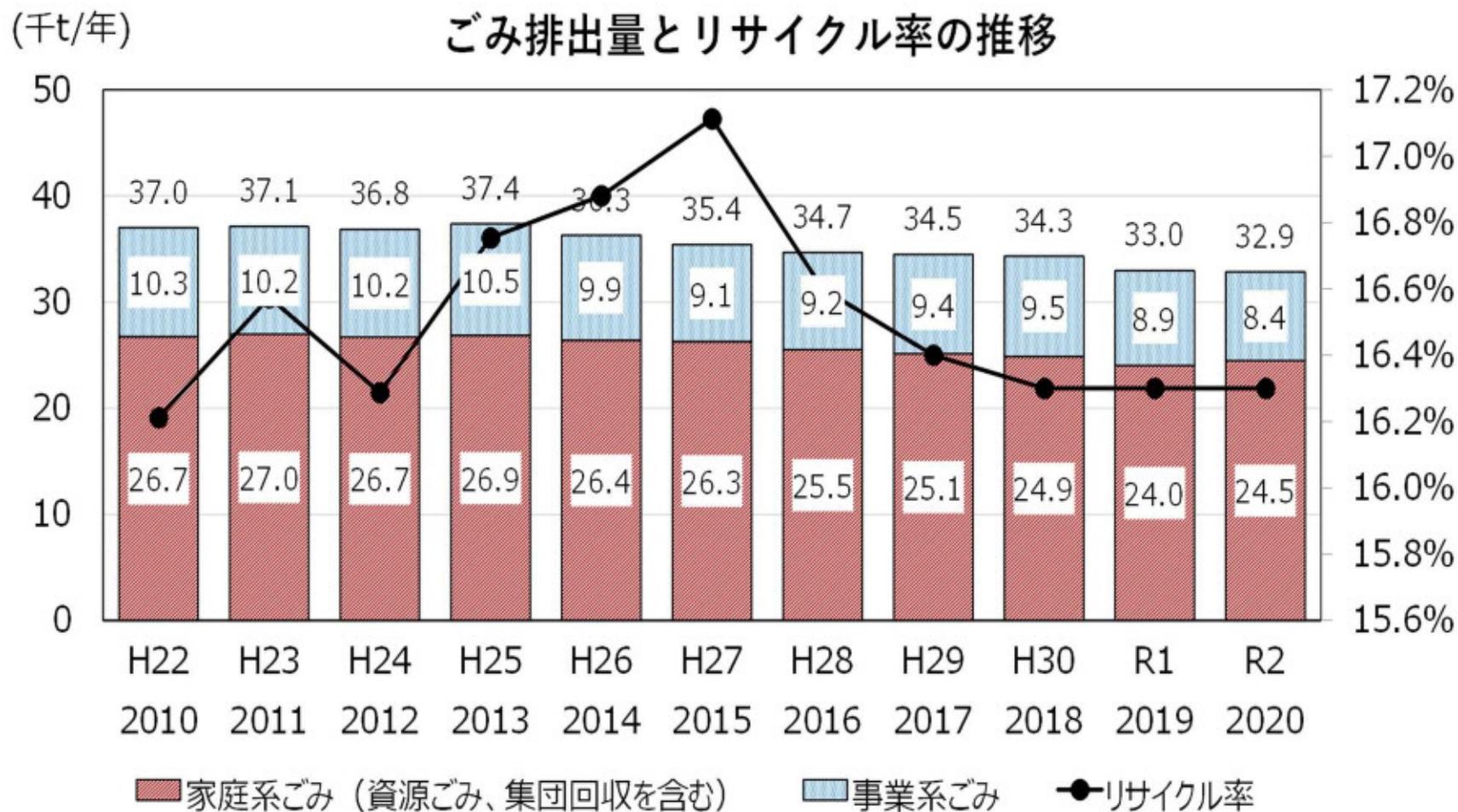
# 芦屋市の現状と課題①～中間目標の達成状況～

達成項目もあるが、集団回収量・リサイクル率は目標と乖離が見られます。

項目	単位	H27年度 実績値	R2年度 実績値	R2年度 中間目標	中間目標 達成状況	R8年度 最終目標
1人1日あたりのごみ排出量	g/人・日	1,001	943	948	○	874
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量	g/人・日	568	550	529	×	474
事業系ごみ排出量	t/年	9,132	8,385	8,584	○	7,762
集団回収量	t/年	3,894	3,074	3,979	×	4,123
リサイクル率	%	17.1	16.4	18.9	×	21.1
最終処分量	t/年	5,194	4,344	4,825	○	4,339

# 芦屋市の現状と課題②～ごみ処理量とリサイクル率の推移～

ごみ排出量は年々減少も、兵庫県下では1人あたりの家庭系ごみ量が多い方の自治体になります。



# 芦屋市の現状と課題③ ～次期計画における課題～

ごみの減量・資源化だけでなく、安定したごみ処理も課題です。

SDGs

## 排出抑制・減量化・再資源化

- 家庭系ごみ排出量の減量
- 分別の徹底
  - 紙ごみの削減
- 再資源化の促進
  - 集団回収
  - 民間店舗等との協働

### 指針

- 1人1日当たりの家庭系のごみ量
- リサイクル率
- 組成分析の紙ごみの割合
- 最終処分量 etc

## 事業系ごみの適正化

- 排出者責任

### 指針

- 家庭ごみステーションを利用する事業者の割合 etc

## 収集・中間処理

- 安全と安定の運営
- 経済的効率化

### 指針

- 安定稼働している日数 etc

# 次期計画における5つの基本方針① ～課題解消と目標実現～

課題を解消し、持続可能な循環型社会を目指すための5つの基本方針をたてます。

## 日常における 環境意識の醸成

施策例

- **指定ごみ袋の導入**
- 啓発ツールの多様化
- 危険ごみの啓発
- 環境教育の充実
- リサイクルイベントの実施

## 市民参画・協働 の推進

施策例

- 住民参加の将来構想
- 再生資源集団回収の活性化
- ごみに関するワークショップ

## 多様な主体 との連携

施策例

- 民間店舗の活用
- 民間団体との提携
- 福祉との連携

## 排出事業者責任 の徹底

施策例

- 事業系ごみ袋の指定
- 許可業者との契約の促進
- 事業系ごみハンドブック

## 新施設の 検討・構想

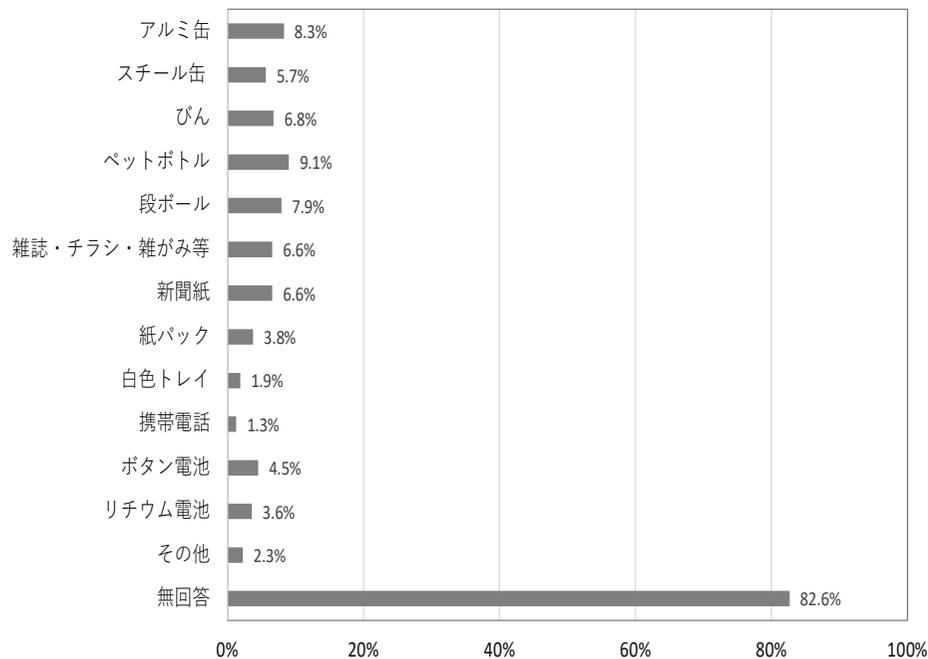
施策例

- プラスチック分別の検討
- CO2削減
- 次世代エネルギー環境技術の検討

# 次期計画における5つの基本方針② ~多様な主体との連携例~

民間店舗で協働いただける店舗に協力を求めています。

## ●市民の方が、事業所に無料で持ち込み（回収）できる（されている）品目



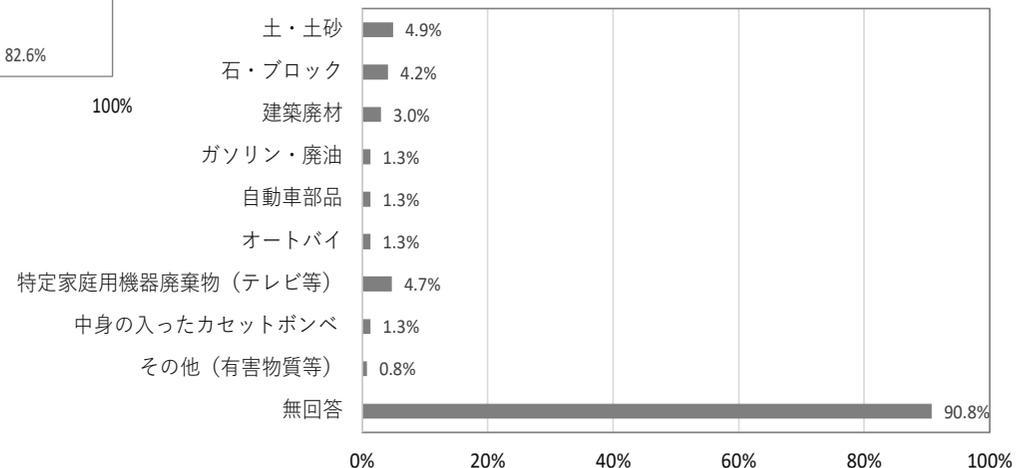
HPや、ごみハンドブック更新時に持ち込み可能な店舗等を掲載することで、資源循環の促進や、市民のごみ捨てるの利便性向上を図ります

## 福祉との連携

フードドライブの常設化は、生活にお困りの方等に喜んでいただけています。



## ●市民の方から有料(事業として)で回収可能な廃棄物



# 次期計画における5つの基本方針③～SDGsとの関連性～

単なるごみ処理にとどまらず持続可能な社会を目指す取り組みとします。

基本方針	SDGsの関連目標										
	1 貧困をなくそう	4 質の高い教育をみんなに	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
基本方針 貧困をなくそう											
基本方針 1 日常における 環境意識の醸成											
基本方針 2 市民参画 ・協働の推進											
基本方針 3 多様な主体 との連携											
基本方針 4 排出事業者 責任の徹底											
基本方針 5 新施設の検討・構想											